令和７年度教員採用候補者選考試験問題	校種	―	教科	養護教諭	（その １）

＊　解答は、すべて「解答用紙」に記入すること。

1　学校保健安全法について、以下の(1)、(2)の各問いに答えよ。**[(1)各２点、(2)各１点]**

(1)　次の条文の（　①　）、（　②　）に入る適切な語句をそれぞれ答えよ。

第 10 条　学校においては、救急処置、（　①　）又は（　②　）を行うに当たつては、必要に応じ、当該学校の所在する地域の医療機関その他の関係機関との連携を図るよう努めるものとする。

(2)　次の条文の（　①　）～（　⑥　）に入る適切な語句を下の語群から選び、記号でそれぞれ答えよ。

第 27 条　学校においては、児童生徒等の（　①　）を図るため、当該学校の施設及び設備の（　②　）、児童生徒等に対する通学を含めた学校生活その他の日常生活における安全に関する（　③　）、職員の（　④　）その他学校における安全に関する事項について計画を策定し、これを実施しなければならない。

第 28 条　（　⑤　）は、当該学校の施設又は設備について、児童生徒等の（　①　）を図る上で支障となる事項があると認めた場合には、遅滞なく、その改善を図るために必要な措置を講じ、又は当該措置を講ずることができないときは、当該（　⑥　）に対し、その旨を申し出るものとする。

語群						
	A　地方自治体	B　指導	C　学校の設置者	D　安全の確保	E　研修	F　衛生管理
	G　安全点検	H　校長	I　健康の保持増進	J　訓練の実施	K　教育	L　国

2　「学校において予防すべき感染症の解説」（令和５年度改訂　公益財団法人　日本学校保健会）について、以下の(1)、(2)の各問いに答えよ。**[(1)ア各１点、その他各２点]**

(1)　髄膜炎菌性髄膜炎について、以下のア、イの各問いに答えよ。

ア　次の文中の（　①　）～（　⑤　）に入る適切な語句や数を下の語群から選び、記号でそれぞれ答えよ。

・髄膜炎菌による細菌性髄膜炎で、発熱、頭痛、（　①　）を主症状とする感染症。乳幼児期、（　②　）及び 40～70 代に多い。抗菌薬の発達した現在においても、発症した場合は後遺症や死の危険性がある。
・感染経路は飛沫感染、接触感染。（　③　）や補体欠損等では重症化のリスクが高い。
・致命率は 10%、回復した場合でも 10～20%に難聴、まひ、（　④　）等の後遺症が残る。
・患者と、家庭内や学校・幼稚園等で接触、キス、歯ブラシや食事用具の共用による唾液の接触、同じ住居でしばしば寝食を共にした人は、患者が診断を受けた（　⑤　）時間以内に抗菌薬の予防投与を受けることが推奨される。

語群					
	A　てんかん	B　水腎症	C　思春期	D　コプリック斑	E　嘔吐
	F　学童期	G　24	H　48	I　無脾症	J　精巣炎

イ　髄膜炎菌性髄膜炎の出席停止期間の基準を述べよ。

(2)　皮膚真菌症について、以下のア、イの各問いに答えよ。

ア　中学生・高校生・大学生の柔道、相撲、レスリング等、格闘技のスポーツ選手に好発する疾患を答えよ。

イ　アの疾患を予防するために、練習や試合後に該当生徒に必要な指導について、簡潔に二つ述べよ。

3　児童生徒等の健康診断について、以下の(1)、(2)の各問いに答えよ。**[(1)各２点、(2)各１点]**

(1)　「児童生徒等の健康診断マニュアル」(平成27年度改訂　公益財団法人　日本学校保健会) に示されている「視力検査の実際」の一部について、次の文中の（　①　）～（　⑤　）に入る適切な語句や数をそれぞれ答えよ。

準備

視力表：国際標準に準拠した（　①　）を使用した視力表の 0.3、0.7、1.0 の視標を使用する。
照明：視標面の照度は（　②　）～1,000 ルクスとする。
検査場所：あまり狭くない部屋でカーテンを使用し、（　③　）が入らないように注意する。

判定

（　④　）方向のうち（　⑤　）方向を正答できれば「正しい判別」と判定する。

(2)　近年、文部科学省の調査では、裸眼視力 1.0 未満の子供の割合は増加傾向にあり、近視が将来の目の病気のリスクを高める可能性があることが分かってきている。**表１**は、「子供の目の健康を守るための啓発資料　文部科学省」に示されている近視度数と眼疾患のオッズ比の一部である。（　①　）～（　④　）に入る語句を下の語群から選び、記号でそれぞれ答えよ。

表１

近視度数	後嚢下（　①　）	（　②　）	（　③　）	（　④　）
弱度近視	2 倍	2 倍	3 倍	14 倍
中等度近視	3 倍	3 倍	9 倍	73 倍
強度近視	5 倍	3 倍	13 倍	845 倍

語群				
	ア　内反症	イ　近視性黄斑変性症	ウ　結膜炎	エ　霰粒腫
	オ　緑内障	カ　網膜剥離	キ　麦粒腫	ク　白内障

この問題については、それぞれに著作権がありますので十分に注意をしてください。

4　糖尿病について、以下の(1)、(2)の各問いに答えよ。**[(1)ア各１点、その他各２点]**

(1)　**表２**は、「学校検尿のすべて」（令和２年度改訂　公益財団法人　日本学校保健会）に示されている「子供の糖尿病の種類と特徴」の一部である。以下のア、イの各問いに答えよ。

ア　（　a　）、（　b　）に入る適切な語句を下の語群から選び、記号でそれぞれ答えよ。

イ　（　①　）～（　④　）に入る適切な語句をそれぞれ答えよ。ただし、③、④は順不同とする。

表２

	１型	２型
体型	やせ型	太り気味
発病経過	急激	ゆっくり
糖尿病性（　a　）の頻度	乳幼児で多くみられる。	清涼飲料水の多飲時にみられる。
原因	膵β細胞における（　①　）の異常	肥満、生活習慣の悪化
糖尿病（　b　）の頻度	乳幼児でしばしばみられる。	まれ
治療	（　②　）の注射が治療の中心である。	（　③　）療法と（　④　）療法および経口血糖降下薬

語群	**ア**　ケトアシドーシス	**イ**　筋萎縮症	**ウ**　昏睡	**エ**　アルカローシス

(2)　学校等における重症の低血糖発作時の対応に関する通知(令和６年１月 25 日付け文部科学省事務連絡)について、以下のア、イの各問いに答えよ。

ア　児童等が、重症の低血糖発作を起こし、生命が危険な状態等である場合に、現場に居合わせた教職員等が、本人に代わって投与する粉末剤を答えよ。

イ　教職員等が、アの粉末剤を投与した後に、当該児童等に対して、行うべき対応を答えよ。

5　学校環境衛生について、以下の(1)、(2)の各問いに答えよ。**[各２点]**

(1)　**表３**は、「学校環境衛生基準」に示されている、教室等の環境に係る検査項目と基準についての一部である。（　①　）～（　⑤　）に入る適切な語句や数をそれぞれ答えよ。

表３

検査項目	基準
（　①　）	（　①　）の基準として、二酸化炭素は、1500ppm 以下であることが望ましい。
温度	（　②　）℃以上、28℃以下であることが望ましい。
相対湿度	（　③　）%以上、80%以下であることが望ましい。
一酸化炭素	（　④　）ppm 以下であること。
ダニ又はダニアレルゲン	（　⑤　）匹/㎡以下又はこれと同等のアレルゲン量以下であること。

(2)　ダニ又はダニアレルゲンの検査方法について、次の文中の（　①　）、（　②　）に入る適切な語句や数字をそれぞれ答えよ。

温度及び湿度が（　①　）時期に、ダニの発生しやすい場所において１㎡を電気掃除機で（　②　）分間吸引し、ダニを捕集する。捕集したダニは、顕微鏡で計数するか、アレルゲンを抽出し、酵素免疫測定法によりアレルゲン量を測定する。

6　救急処置について、以下の(1)、(2)の各問いに答えよ。**[(1)各２点、(2)各１点]**

(1)　骨折の手当の基本について、次の文中の（　①　）～（　⑤　）に入る適切な語句をそれぞれ答えよ。

・副子は、骨折部が動かないように骨折部の上下から包帯でしっかり（　①　）するが、（　②　）の血行を妨げない程度の強さにする。
・開放骨折の場合、（　③　）を止め、きずの手当をしてから（　①　）する。（　④　）の外に出ている骨を元に戻そうとしてはいけない。
・膝の骨折の場合、（　⑤　）からかかとの先までの長さの副子を下肢の裏側に当て、（　①　）する。

(2)　「学校等の管理下の災害」（令和５年版　独立行政法人　日本スポーツ振興センター）の「負傷・疾病の概況」について、正しいものには○、誤っているものには×で答えよ。

ア　小学校の「場合別」では、「休憩時間」に最も多く発生し、全体の約半数を占めている。

イ　小学校の「体育用具・遊具別」では、「ぶらんこ」が最も多く、次いで「雲てい」、「鉄棒」が多い。

ウ　中学校の「部位別」では、「頭部」が最も多く発生している。

エ　高等学校等の「運動種目別」では、「球技中のけが」が全体の８割以上を占めている。

この問題については、それぞれに著作権がありますので十分に注意をしてください。

7　「保健室経営計画作成の手引」（平成 26 年度改訂　公益財団法人　日本学校保健会）に示されている保健室経営について、以下の(1)～(3)の各問いに答えよ。**[各２点]**

(1)　次の文は、保健室経営計画についての説明である。（　①　）～（　④　）に入る適切な語句を答えよ。

・保健室経営計画とは、当該学校の教育目標及び（　①　）目標などを受け、その具現化を図るために、保健室の経営において達成されるべき目標を立て、計画的・組織的に運営するために作成される計画である。
・（　②　）型の保健室経営計画を立て、児童生徒の心身の健康づくりを効果的に進めていくことが必要である。
・「保健室経営」は、養護教諭の重要な職務であり、学校全体に関わり学校・（　③　）・地域の連携のもと推進していく必要があることから、（　④　）の観点に立って取り組むことが必要である。

(2)　保健室経営計画マネジメントサイクル（ＰＤＣＡ）のうち、Ｃ（評価）において留意すべきことは何か答えよ。

(3)　保健室経営計画とは別立てとし、年度当初に職員等に説明や指導する機会を設けるなどして周知・共通理解を図っておくべき基本的事項のうち三つを答えよ。

8　栄養について、以下の(1)～(3)の各問いに答えよ。**[(1)各１点、その他各２点]**

(1)　以下のビタミンに関する説明について、正しいものには○、誤っているものには×で答えよ。

ア　ビタミンは、生命維持のために重要な有機化合物であり、体内でほとんど合成される。
イ　ビタミンＡは、成長や視覚、皮膚・粘膜の形成などに関与している。
ウ　ビタミンＤは、脂溶性ビタミンであり、欠乏症は、幼児期では骨軟化症、成人ではくる病を引き起こす。
エ　ビタミンＥには抗酸化作用があり、細胞膜などを構成しているリン脂質中の多価不飽和脂肪酸や膜タンパク質の酸化を防止するのに役立っている。

(2)　**表４**は、食物繊維の特徴とはたらきについて示したものである。（　①　）、（　②　）に入る適切な語句をそれぞれ答えよ。

表４

分類	特徴とはたらき
（　①　）性	・水分を吸収してふくらみ腸を刺激し便通を促す。 ・咀嚼を要するため、満腹中枢を刺激したり、顎の発育を促したりする。
（　②　）性	・粘性があるため、胃・腸内の滞留時間を延長させる。 ・糖質や脂質などを吸着し、吸収をゆるやかにしたり、体外に排泄したりする。

(3)　成人が安静にしている場合、１日の水分摂取量、排泄量は、ともに約 2,500mL である。**表５**の下線部①、②について、それぞれ簡潔に説明せよ。

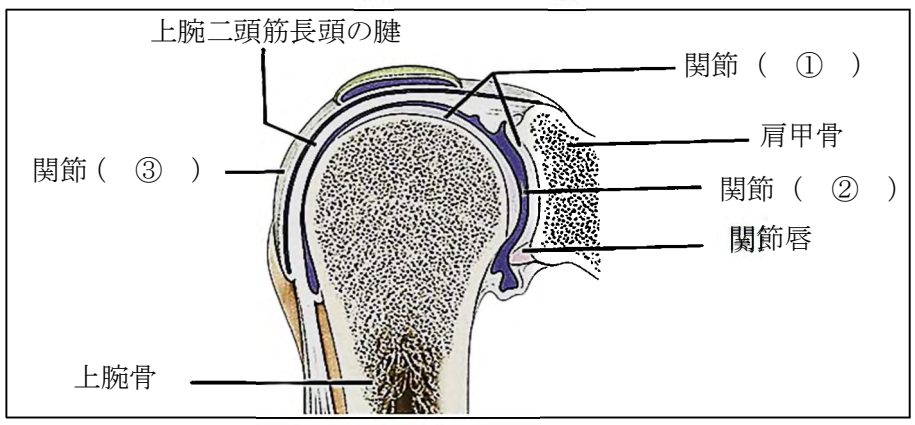
表５

摂取量（mL）		排泄量（mL）	
飲料	1,600	尿	1,500
食物	600	②不感蒸泄	900
①代謝水	300	大便など	100

9　肩関節と肩甲骨の構造と機能について、以下の(1)～(3)の各問いに答えよ。**[(2)１点、その他各２点]**

(1)　**図１**は、肩関節（皮膚や筋肉は除く）の構造を示したものである。
　各部位の名称について、（　①　）～（　③　）に入る適切な語句をそれぞれ答えよ。

図１



(2)　肩関節に作用する筋について、次の文中に入る正しい語句の組み合わせを下のＡ～Ｄから選び、記号で答えよ。

　肩関節に作用する大きな筋のうち、（　①　）は腕を体幹に引き寄せ（内転）、前方に上げ（屈曲）、（　②　）は腕を横に振り上げ（外転）、（　③　）と大円筋は後方に振る（伸展）はたらきをする。

A　①　三角筋　―　②　大胸筋　―　③　広背筋		**B**　①　大胸筋　―　②　三角筋　―　③　広背筋	
C　①　大胸筋　―　②　広背筋　―　③　三角筋		**D**　①　三角筋　―　②　広背筋　―　③　大胸筋	

(3)　次の文中の（　①　）～（　③　）に入る適切な語句をそれぞれ答えよ。

・肩甲骨からおこるいくつかの筋の腱が上腕骨頭をかかえ込んでいて、（　①　）を防いでいる。
・肩甲骨は、（　②　）だけを介して体幹の骨格につながっている。
・肩関節は、肩甲骨の関節窩と丸い上腕骨頭との間にあり、多軸性の（　③　）である。

この問題については、それぞれに著作権がありますので十分に注意をしてください。

校種	―	教科	養護教諭	番号		氏名	

○　　○　　○　　○

令和７年度教員採用候補者選考試験解答用紙　（その １ ）　得 点　120　点

1

(1)	①	健康相談				②	保健指導				
(2)	①	D	②	G	③	B	④	E	⑤	H	⑥	C

2

(1)	ア	①	E	②	C	③	I	④	A	⑤	G
	イ	症状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで。									
(2)	ア	白癬（せん）									
	イ	・　できるだけ早く入浴又はシャワーで、体や頭を石鹸（けん）等で洗う。 ・　練習・試合に身に着けていた衣類はよく洗濯する。									

3

(1)	①	ランドルト環	②	500	③	直射日光		
	④	4	⑤	3				
(2)	①	ク	②	オ	③	カ	④	イ

4

(1)	ア	a	ア	b	ウ		
	イ	①	自己免疫	②	インスリン	③ 食事	④ 運動
(2)	ア	グルカゴン点鼻粉末剤		イ	医療機関で受診させる。		

5

(1)	①	換気	②	18	③	30	④	6	⑤	100	
(2)	①	高い				②	1				

解答欄に示しているのは、解答例です。

○　　○　　○　　○

令和７年度教員採用候補者選考試験解答用紙　（その ２ ）

6

(1)	①	固定	②	末梢	③	出血	
	④	皮膚	⑤	殿部			
(2)	ア	○	イ	×	ウ	×	エ	○

7

(1)	①	学校保健	②	課題解決	③	家庭	④	学校経営
(2)	自己評価及び他者評価を行う。							
(3)	保健室利用方法 健康観察の方法 救急体制・日本スポーツ振興センターの手続き方法							

8

(1)	ア	×	イ	○	ウ	×	エ	○
(2)	①	不溶　　性	②	水溶　　性				
(3)	①	体内で栄養素が燃焼することによって得られる水のこと。						
	②	意識することなく、つねに行われている肺や皮膚からの水分の排泄のこと。						

9

(1)	①	軟骨	②	腔	③	包
(2)	B					
(3)	①	脱臼	②	鎖骨	③	球関節

解答欄に示しているのは、解答例です。